

High Performance Desktop Audio

QS-9

ハイレゾ対応USB DAC搭載 真空管ハイブリッドアンプ

取扱説明書

Soundfort

1. はじめに

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

2. お使いになる前に

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、警告事項・注意事項について説明していますので、内容をよく理解してからお使いください。



警 告： この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡
または負傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注 意： この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負
う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が
想定される内容を示しています。



警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。

● 周辺機器への影響

本製品を人名や身体、財産に関わる重大事故が発生する恐れのある設備、機器等の周辺では、使用しないでください。

- ・電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないでください。
- ・航空機、原子炉設備などの重要施設では使用しないでください。
- ・軍事目的（武器、テロ行為）や軍事関連施設では使用しないでください。

● 故障のときは使用しない

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切ってコンセントから電源プラグを引き抜いてください。煙や変な臭いがしなくなることを確認して弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

● 改造の禁止

本製品のカバー・基板を外し、改造したり、分解したりしないでください。火災・感電および故障の原因となります。製品の点検・修理は弊社にご連絡ください。

- スピーカー接続端子短絡させない

本装置に指定インピーダンス負荷以下のスピーカーを接続、またはスピーカー端子を短絡させて使用すると、故障や火災の原因となります。
絶対に指定以外の負荷を接続しないでください。

- 破損した場合

本製品を落としたりした場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源ケーブルの取り扱い

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり結んだりしないでください。また、ケーブルの上に重いものをのせたり、加熱したりすると電源ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。
電源ケーブルが傷んだら弊社に修理をご依頼ください。

- 湿度の高いところでの仕様は禁止

本製品を湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 内部に水が入ったり、濡れたりした場合

内部に水などが入った場合は電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、弊社にご連絡ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



注 意

- 温度が高くなる場所での使用禁止
日光が直接当たるところや暖房機器のそばなどで温度が高くなる場所には置かないでください。装置の温度が高くなると、故障および火災の原因になることがあります。
- 火気付近での使用禁止
電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因になることがあります。
- 不安定な場所での使用禁止
ぐらついた台の上や積み重ねた台の上など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因になることがあります。
- 長期間使用しないとき
長期間使用しないときは、安全のため電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 湿気やほこりに注意
湿気やほこりの多い場所で本製品を使用しないでください。故障や火災・感電の原因となる場合があります。

- 電源プラグの取り扱い

電源コードをコンセントから引き抜くときは、電源プラグをしっかりとって抜いてください。ケーブルをもって引き抜くと電源ケーブルが破損し、故障および火災の原因になることがあります。

- 真空管を触らない

使用中の真空管は熱くなることがありますので触らないでください。
やけどする危険があります。

- 大音量での連続使用

最大音量で長時間使用すると、スピーカーの破損や製品の故障の原因となります。
また、他の人への迷惑ともなりますので適切な音量でお楽しみください。

- 製品の落下

本製品を移動するときには、十分注意し落下させないようにしてください。
落下させますと、けがをする危険があります。

- 電源を入れるときや入力を切り替えるとき

音量を上げたまま、電源を入れたり、入力切替スイッチを切り替えないでください。
突然大きな音が出たり、切り替えノイズでスピーカーを破損する可能性があります。

*本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外での使用はできません。

QS-9 機器の各部名称と機能説明



① スピーカー接続端子

② 電源トランス

③ 入力 選択スイッチ

④ 電源 ランプ(電源ON時に点灯)

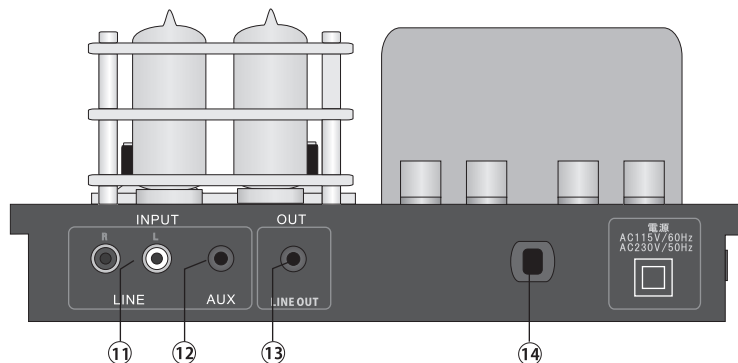
⑤ 音量調整ボリューム

⑥ 真空管保護枠

⑦ 真空管 (6C3)

⑧ 再生準備完了ランプ

QS-9 機器の各部名称と機能説明



- ⑪ LINE (RCA端子) : ステレオ アナログ入力
- ⑫ AUX (ミニジャック) : ステレオ アナログ入力 (3.5φ)
- ⑬ LINE OUT (ミニジャック) : ステレオ アナログ出力(ボリューム連動)
- ⑭ 電源ケーブル (AC100V 50/60Hz)

QS-9 機器の各部名称と機能説明

電源スイッチおよびUSBコネクタ、ヘッドフォンジャック



115V/230V切替スイッチ
(工場出荷時115V設定) 電源スイッチ

注意！

電源電圧切替スイッチは操作しないでください。
230Vにしますと動作しない場合があります。

電源を入れると青い電源ランプが点灯した後
暫くして真空管下の再生準備完了の青いランプ
が点灯し真空管の準備が整ったことを知らせます。
この時点より再生が可能となります。
最初は音量が小さい場合もありますが、時間が
経過すれば通常の音量が得られます。



ヘッドフォンジャック (ミニジャック)

Mini USBコネクタ
PC接続用

QS-9 機器接続前の準備 (Windows ドライバーインストール)

QS-9は、Windows とMac OSXとのUSB接続に対応していますが、DSDファイルをWindows環境で再生する場合にはドライバーソフトのインストールが必要となります。

次の手順でドライバーソフトをダウンロードしてインストールしてください。

なお、Mac OS Xの場合は必要ありません。

- 1) 下記の弊社サイトからQS-9 /DS-100+の最新のドライバーならびにインストールマニュアルをダウンロードしてください。

- ダウンロードサイト : <http://www.soundfort.jp/download/>

- 2) ドライバーソフトのインストール

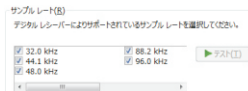
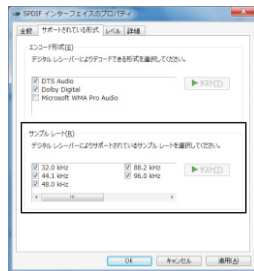
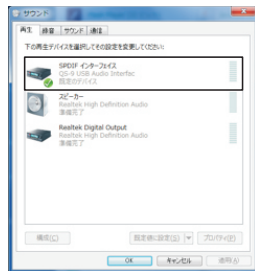
- インストールマニュアルを参照しインストールしてください。

ドライバーのインストールと同時に、SaviAudio 社製ASIO 転送状態モニターソフト (BRAVO-X ACPL) がインストールされます。

QS-9 機器接続前の準備 (Windows の設定)

Windowsの設定 (windows 7での例)

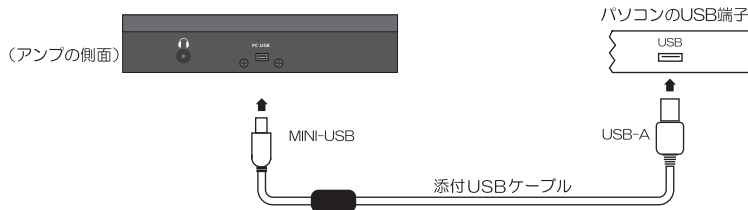
- 1) 「コントロールパネル」→「サウンド」を開きます。
(タスクトレイのスピーカーアイコンを右クリック⇒「再生デバイス」を選択でも可)
- 2) SQ-9 USB Audio I/Fと言う名前が表示された「デジタル出力」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックもしくはタップします。
- 3) 「デジタル出力のプロパティ」の画面で「サポートされている形式」タブを選択します。
- 4) 「サンプリングレート」の項で「32.0kHz」から「96kHz」まですべてにチェックを入れ「OK」ボタンをクリックまたはタップします。



QS-9 機器の接続と操作 PCとのUSB接続で音楽を聴く

1. USBケーブルでパソコンとアンプを接続する。

- 1) 電源が切れている、ボリュームが最小になっていることを確認してください。
- 2) 添付のUSBケーブルでパソコンとアンプを接続してください。

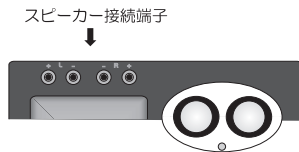


- 3) 接続が完了したらパソコンに本アンプがQS-9 USB Audio I/Fとして認識されます。
(本アンプのUSB DACは本体電源に関係なくUSBバスパワーで動作します。)
- 4) Windowsのコントロールパネル⇒サウンド⇒オーディオデバイスのタブを開いてQS-9 USB Audio I/Fを選択してください。
- 5) コントロールパネルのサウンドとオーディオデバイスを開いて、音量のタブを選択し音量の設定を90%程度に調整してください。

QS-9 機器の接続と操作 PCとのUSB接続で音楽を聴く

2. スピーカーを接続する。

- 1) アンプの電源が切れていることを確認してください。
- 2) アンプのスピーカー接続端子に右（R）左（L）とプラス（+）、マイナス（-）を間違えないように接続コードを繋いでください。この端子は、コードを挟み込むほか、バナナプラグも使用することができます。



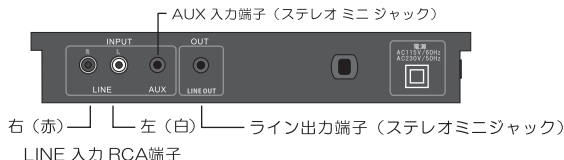
注. スピーカー端子のプラスとマイナスが短絡（ショート）しないように注意してください。

- 3) 接続が完了しましたら音量調整ボリュームが最少（MIN）になっていることを確認してアンプの電源を入れてください。
- 4) アンプの電源を入れると青い電源ランプが点灯し、暫くしてから真空管下の準備完了を示す青いランプが点灯します。
- 5) 準備が完了したことを確認してからボリュームを少し上げてください。
- 6) パソコンで音楽を再生して、スピーカーから音が出ることを確認してください。

QS-9 機器の接続と操作 CD等アナログ入力で音楽を聴く

- ・CD/DVDを接続する。

- 1) アンプの電源が切れていることを確認してください。
- 2) アンプの背面にINPUT LINE入力のRCA端子があります。このにCD/DVDの音声ケーブルを挿し込みます。接続ケーブルには右(R)と左(L)が有りますので本体の表示に合わせて差し込んでください。



- 3) 接続が完了しましたら音量調整ボリュームが最小(MIN)になっていることを確認し、入力切替スイッチをLINEに合わせ、アンプの電源を入れてください。
- 4) アンプの電源を入れると青い電源ランプが点灯した後、暫くして真空管下の青いランプが点灯します。
- 5) 準備ができたことを確認したから、音量調整用ボリュームを少し上げてください。
- 6) CD/DVDプレイヤーの再生ボタンを押して、スピーカーから音が出ることを確認してください。AUX入力端子 (ステレオミニジャック) も同様の手順で接続してください。

**

スマートフォン、iPodなどのポータブルプレイヤーのイヤフォン端子から本アンプに接続した場合、音量調整ボリュームを上げないと十分な音量が得られない場合がございます。

QS-9 主な仕様

【パワーアンプ部】

- ・実用最大出力 : 12W+12W (負荷8Ω、1kHz、THD1%)
- ・全高調波歪率 : 1.0%以下 (定格出力-3dB、負荷8Ω、1kHz)
- ・出力負荷範囲 : 4Ω~16Ω

【プリアンプ部】

- ・入力インピーダンス : LINE、AUX入力 40kΩ以上
- ・入力感度 : 250mV

【総合特性】

- ・周波数特性 : 20Hz~100kHz (+0,-3dB) LINE IN時
- ・S/N比 : -92dB以上

【USB DAC部】

- ・対応ファイル : PCM/DSD64
- ・対応サンプリング周波数 : 44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz 16/24/32bit

【仕様環境条件】

- ・温度、湿度 : 温度 0℃~40℃、湿度35~80% 結露しないこと

【電源・消費電力】

- ・電源 : AC100V±10% 50/60Hz
- ・消費電力 : 45W (待機時3W以下)

【外形寸法・重量】

- ・外形寸法 : 幅200 x 奥行135 x 高さ90 (単位:mm)
- ・重量 : 約1.7kg

【添付品】

- ・ケーブル : USBケーブル 1本
- ・取扱説明書 : 1部 (本書)

形式	QS-9	
お客様	お名前	
	ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買い上げ日	
	年 月 日	本体はお買い上げ日より 1年間

【無料修理規定】

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無償修理いたします。
2. 無償保証期間でも次の場合は有料修理となります。
 - 1) 本保証書のご提示が無い場合
 - 2) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、または字句を書きかえられた場合
 - 3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
 - 4) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷
 - 5) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風・水害その他の天災など、外的要因による故障・損傷
 - 6) 本製品で規定する使用環境以外でご使用された場合の故障・損傷
3. 無償保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はおお客様の負担となります。
4. 本保証書は日本国内のみに有効です。

MEMO



Soundfort

www.soundfort.jp